

プレゼンテーション技術演習（二）（2単位）

担当者氏名 渡部 俊弘、佐藤 広顕、遠藤 明仁

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

科学的な内容を聴衆にアピール出来る高度な発表技術を統括的に演習する。毎年、実施している各種講演会やポスター発表等を活用する。
本講義を十分に理解することにより、受講者は独りよがりではない、聴衆のことを考えたプレゼンテーションをすることが出来るようになる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

ポスターセッション オーラルセッション ミーティング 学内発表
学会発表 成果報告

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1 -3	発表形式1（遠藤）	ポスター発表用演習	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）
4 -5	発表形式2（遠藤）	口頭発表用演習	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）
6 -8	プレゼンテーション用データ表記と発表方法（渡部）	分かり易い作図やフォントの工夫、聴衆に理解させる説明方法について解説	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）
9 -10	質疑応答（渡部）	質疑応答の方法について演習形式で解説	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）
11 -13	総合演習1（佐藤）	学内での修士論文発表（中間発表を含む）を目指した総合演習	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）
14 -15	総合演習2（佐藤）	学会発表を念頭に置いた総合演習	プレゼンテーション技術演習（一）で学んだことを復習しておく（1時間程度）

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜資料を配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2000/永井克昇/実教出版（2001）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業参加2/3以上の学生に対して、レポート及び演習で評価する。

◆オフィスアワー

随時

◆その他受講上の注意事項

受け身ではなく、積極的なディスカッションへの参加姿勢を持って受講すること。